

平成24年(ワ)第328号、平成25年(ワ)第59号 志賀原発運転差止請求事件  
原告 北野進 外124名  
被告 北陸電力株式会社

## 証 拠 説 明 書 ( 2 6 )

(第28準備書面に関して)

平成26年9月24日

金沢地方裁判所民事部合議B1係 御中

原告ら訴訟代理人

弁護士 岩淵正明 外



以下の証拠表示は、甲号証番号、標目、原本の有無、作成者、作成日、立証趣旨等の順に記載する。

※ 作成日は書証上の形式的な作成日を記述

番号	標目	原写	作成者	作成日	分類	立証趣旨等
A21	能登半島の活断層	写	太田陽子, 松田時彦, 平川一臣 著	S51.10	③	【第28準備書面 第31項】 昭和51年のころから、富来川の南部と北部とで、M1面の旧汀線の高度差が認められており、富来川南岸断層の存在が認められていること
A22	[新編]日本の活断層 ——分布図と資料 (抄)	写	活断層研究会 編	H13.6.20 (第18版) (H3.3.25 初版発行)	③	【第28準備書面 第31項】 富来川南岸断層の存在が認められていること
A23	1:100,000 地殻変動 土地条件図「能登半 島」	写	太田陽子, 国土地理院 地理調査部	H9	③	【第28準備書面 第31項】 富来川南岸断層の存在が認められていること
A24	変動地形を探るI— —日本列島の海成段 丘と活断層の調査か ら	写	太田陽子 (発行者: 株式会社古 今書院)	H11.4.2	③	【第28準備書面 第31項】 富来川の南部と北部とで、M1面の旧汀線の高度差が認められていること

A25	日本の海成段丘アトラス (抄)	写	小池一之, 町田洋 編 (発行所: 財団法人東 京大学出版 会)	H13.6.22	③	【第28準備書面 第3 1項】 能登半島における段丘分布と地殻変動の特徴
A26	志賀原子力発電所 富来川南岸断層の評 価に関わるデータ拡 充のための追加調査 について	写	被告	H24.6.19	③	【第28準備書面 第3 3項】 被告が、富来川南方の巖門までの沿岸域に中位段丘 面が分布していないと主張していること
A27	地震列島日本の原発 ——柏崎刈羽と福島 事故の教訓	写	立石雅昭 (発行所 株式会社東 洋書店)	H25.7.16	③	【第28準備書面 第3 4項】 石川県志賀町巖門、牛下、生神に海成中位段丘が存 在し、巖門→牛下→生神と北へいくにつれて、海成 中位段丘面の高度が高くなるが、富来川の右岸に位 置する八幡では、海成中位段丘面の高度が低くな り、富来川を境にして、左岸と右岸で高度差があり、 富来川沿いに南に傾く逆断層、すなわち富来川南岸 断層が存在し、それが約12～13万年前の最終間 氷期最盛期以降にずれ動いた可能性が高いこと

番号	標目	原写	作成者	作成日	分類	立証趣旨等
B 281	敷地内及び敷地周辺の地質・地質構造調査に係る審査ガイド	写	原子力規制委員会	H25.6.19	③	【第28準備書面 第2】 将来活動する可能性のある断層等の定義, 認定の基本方針, 活動性評価
B 282	建設技術者のための地形図読図入門——第3巻 段丘・丘陵・山地	写	鈴木隆介 (発行者: 株式会社古今書院)	H12.5.23	③	【第28準備書面 第3 4項】 段丘の形成された時期の特定は, 段丘面の広がりと面の開析状況, 海水面からの比高, 土壌の風化状況などによってなされること